

## 校内研究

### (1) 研究主題

#### 学習指導と学習評価の一体化を図った算数科指導

～ 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導法の改善 ～

### (2) 研究の背景

昨年3月、中央教育審議会から「児童生徒の学習評価の在り方について」が報告された。これに基づいて改善された「児童指導要録（平成22年5月）」は、教師の評価の在り方を方向付けたものである。

そこで、これらを踏まえて「指導と評価の一体化」を授業の中で行い、質の高い授業を進め、子どもたちに質の高い学力等を保障する必要がある。

特に、「評価を踏まえて授業改善や個に応じた指導の充実、指導計画等の改善」を重視して進めなければならない。また、学習評価がかがやき（通知表）や指導要録の評価評定のためだけではなく、結果の評価から結果を出すための過程で、活用する評価に大きく変換されていることに留意して取り組まなければならない。

ところで、今まで3力年国語・算数科について校内研究を深めてきた。この結果、学力向上が見られた一方、活用力に課題があることが判明した。

これらのことから、学習評価の新しい方向性を踏まえながら改善を図り、学力向上と課題解決に努めたい。

### (3) 研究の目的

算数科における単元の観点別評価規準及び評価基準を作成して指導に生かすことにより、児童一人一人が基礎的・基本的な知識等を獲得する学習指導法を考究する。

並びに、信頼性・妥当性等を確保した適切な評価・評定を追究する。

### (4) 研究の目標（目標仮説）

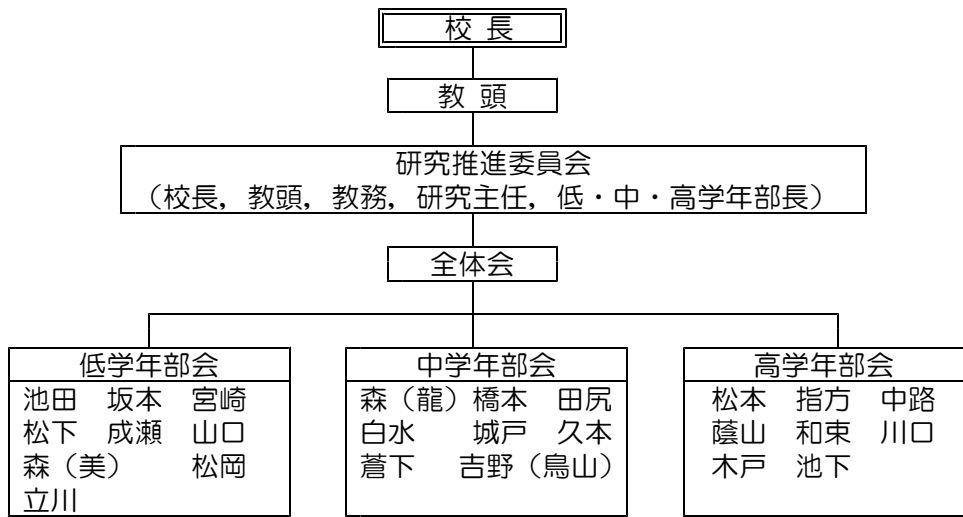
- 学習指導と学習評価の一体化させることにより、的確な児童把握と指導内容の確実な定着を図ることができ、学力向上につながるだろう

### (5) 具体仮説と検証の方法

具体仮説	検証の方法
1 単元の評価規準及び判定基準に照らすことにより、評価後の指導を学力向上につなげることができるだろう	・各学年毎の単元別評価規準表を作成する。

<p>2 1時間の達成目標を明確にすることにより、子どもをよりの確に把握し、子どもの学びにより添った授業を展開することができるだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1時間の授業に観点別評価を設定する。</li> <li>・評価基準表を作成し、「達成不十分」な子どもの指導に役立てる。</li> </ul>
<p>3 校内統一した学習面や生活面での規律を指導することにより、基礎的な学習の構えや生活習慣を身につけた子どもが育つであろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習マナー、学習スキル、生活スタンダードを見直す。</li> </ul>
<p>4 子どもの実態調査を実施し個々の能力や実態に応じた指導をするならば、学力の向上に生かすことができるだろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科に対する諸意識調査を実施し、前年度調査と対比する。</li> <li>・標準学力調査を実施し、年度毎の結果と対比する。</li> <li>・ノーテレビ・ゲームデーを実施（生活部）する。</li> </ul>

(6) 研究組織



(7) 研修計画について

- ①初任者研修：研究授業及び授業研究（年間の位置づけ，3回）
- ②かがやき（通知表）と指導要録の評価の研究
- ③日々の教科等指導における観点別評価の方法と蓄積
- ④現職教育での力量形成